

## 全模研の先生方

大変ご無沙汰しております。メール文頭にも書きましたが、久々に全模研ニュースを発行することができました！前回の発行が1月下旬だったので、実に8か月ぶりとなります。いかにサボっていたかがバレてしまいますね。もちろんこれは言い訳ですが、先月まではずっと教育模擬国連(AJEMUN)にかかりっきりで、全模研の活動に全くと言っていいほど手が回りませんでした。本来の活動が疎かになってしまって本当に申し訳ありません。何とか会の設立趣旨である情報交換や勉強会を活発に行っていきたいと考えています。今回はご連絡も含めて盛りだくさんとなっておりますので、ぜひご一読ください！

## **第2回全国高校教育模擬国連大会(AJEMUN)が開かれました！**

### **来年度は8月7日8日、オリンピックセンターで！**

すでにご承知かと思いますが、この8月6日7日の両日にわたって第2回 AJEMUN が東京品川区のきゅりあん(品川区総合区民センター)にて行われました。昨年の大会が高校生のみで約400名、トライアルの中学生を含めても470名ほどだったのに比べて、今年は高校生だけで500名を超えるエントリーを受け付けました。激増というわけではありませんでしたが、模擬国連の広がりを感じずにはいられません。その結果、中学生の議場を設定することができませんでした。中学生大会については根強い需要があるのは承知しているので、今後の課題になるかと思われます。

今年は昨年副委員長を務め、今年実行委員長になった札幌日大の尾崎君など生徒側の強い要望もあって、初心者議場を設けました。当初は普通(経験者)議場3、初心者議場1のつもりでいましたが、ふたを開けてみると初心者議場の要望が予想外に多く、議場数を2つずつにせざるを得ませんでした。

議題に関しても生徒がBGを書く余裕はないだろうということで、当初より過去の全日本大会のBGを借用して設定することを決めていました。新し過ぎず、古すぎず、その結果が2年前の議題である「国際安全保障の文脈における情報及び電気通信の進歩」(サイバーセキュリティ)でした。初心者にはかなりハードルが高いなと思われましたが、実際に議論が始まってしまえば、フロントの実行委員生徒の活躍で無事にレゾの採決に持ち込むことができました。

また全国から集まった実行委員のみならず、昨年同様全模研の中から、役員として12名の先生方に本当にご尽力いただいて大会が運営できたことをあらためてご報告しておきます。12名は毎月1回のペースでACCUにて打合せを行い、それ以外の日も常にチェーンメールで情報共有をする日々でした。校務多忙の中、完全なボランティアとして、半年以上にわたって大会に携わっていただいたことに、運営代表として感謝申し上げます。本当にありがとうございました。ここにもう一度私以外の役員の先生方のお名前を紹介しておきます。(敬称略)

飯島 裕希(頌栄女子学院)、池田 亜佑美(金光大阪)、柿岡 俊一(埼玉県立浦和西)

後藤 芳文(玉川学園)、斎藤 智晃(渋谷教育学園幕張)、関 孝平(大妻)、竹林 和彦(早稲田実業)

野村 佳史(清泉女学院)、宮坂 武志(浅野)、三浦 佳奈(富士見)、室崎 撰(渋谷教育学園渋谷)

後ほど紹介する朝日新聞の記事にもありますが、AJEMUN はハードルが高くなった全日本大会に出られない生徒にも門戸を開いている大会です。模擬国連を普及する、すそ野を広げるという趣旨ではじまった大会に今まで以上に、これまでは縁遠かった生徒たちを誘いたいと思います。全模研の先生方、ぜひ、より多くの全国の高校生がこの素晴らしいプログラムを体験できるようにお知り合いの先生方にお伝え下さい。最後に今年の大会報告書に記す私の講評文を先行して全文そのままにご紹介したいと思います。拙文で大変恐縮ですが、お読みいただければ今年の大会の雰囲気の一部なりがご理解いただけると思います。なお、来年度の日程もすでに決まっております。後述しますが、8月7日8日で場所は第1回と同じ代々木のオリンピックセンターです。

## 御礼

第2回全国高校教育模擬国連大会(AJEMUN)大会運営代表  
公文国際学園中高等部 米山 宏

昨年の第1回大会より100名近く多い、500名超の全国からの高校生を集めて第2回全国高校教育模擬国連大会(AJEMUN)が無事終了しました。全く経験則もなかった昨年の大会に比べれば、随分と順調に大会は運営されていたと思います。とくに昨年実行副委員長を経験し、今年は実行委員長を担ってくれた札幌日大高校の尾崎君をはじめ、実行委員生徒の皆さんの功績は実に大きいと感じています。ただ大会は運営側のものではありません。参加者の大使の皆さんあつての大会です。一人一人の大使が与えられた課題に真摯に向き合い、協働して地球的課題に解決への道筋をつけてゆく。この作業がいかに尊く、創造的であるか。全国の大使の皆さんや、顧問の先生方はそれに気づいていることと思います。そのような皆さんが集い、存分に力を発揮した時に、この大会の成否が決まるのではないかと思います。

今年は昨年には無かった試みとして、初心者議場を設けてみました。大会運営を担う役員の先生方の中では「初心者が経験者から学ぶことも多いのではないか」と初心者だけの議場に慎重論もありましたが、ふたを開けてみれば全4議場のうち初心者議場が2つになるほど盛況でした。いかに新たに模擬国連を始めようとしている高校生が多数いるかということを実感することができました。また、今年の議題がやや難解だと思われたため、議論が低調になってしまわないかと危惧されましたが、杞憂に終わったようです。むしろ初心者・経験者問わず、昨年同様に活発な議論が繰り返されたことを大変うれしく思います。とくにどこの議場でもコンセンサスを目指す動きがあったことは特筆にあたるでしょう。実際の国連の場でもそうですが、国際協調を図ることは常に我々の理想として掲げていなければならないと感じるからです。

昨年、私はこの欄で「大会は成功でしょうか？」と問いかけました。答えはこの大会に関わったすべての皆さん、一人一人の中にあると思います。私は大会運営代表者として、安易に満足してしまうことに危うさを感じているのはもちろんですが、それよりもこの素晴らしい大会を「もっといいもの」にしていかなければならない責任を感じています。大会としてまだまだ未熟な部分が多くあります。昨年同様に回を重ねることの重要性を痛感しています。「大会の成功」を語るには時期尚早なのかもしれません。

今年は、昨年以上に多くの関係者の方々ご尽力で大会が成り立っていることを実感する場面が多くありました。今年関わっていただいた誰一人が欠けても大会は成り立たなかったことでしょう。最後にこの場をお借りして、大会にご協力いただいたすべての皆さま、ご協賛いただいた企業・団体の皆様方、そして何よりも全模研と共同して大会を主催していただいた ACCU の皆さんに厚く御礼を申し上げたいと思います。未来を見据える高校生を育てる側として、引き続き今後も私たち大人がこの大会を支えるという意識を持っていただければ大会運営代表として、こんなに嬉しいことはありません。ありがとうございました。

### **AJEMUN 朝日新聞の記事となる！**

既にお読みになった方も多いたは思いますが、朝日新聞の9月13日付け朝刊にAJEMUNを題材にした記事が掲載されました。その内容は単なる大会の内容をレポートしたものではありません。活躍した生徒よりむしろ「普通」の生徒にフォーカスしてコラムとして載せています。記事中の生徒のやりとりは想像に難くありませんが、彼女たちが地元を変えるかもしれないという発想は私にはありませんでした。研究会として模擬国連を全国の高校生に知ってもらいたい、広めたいという強い意志のもと活動を続けてきましたが、まさか我々の行為が少し大げさに言えば地方活性化に役立つかもしれないとすれば、それはそれは光栄です。大会を取り上げていただいたことと、新たな視点を与えていただいたことに感謝したいです。次年度は今年以上に多くの地域からの参加者を期待すると同時に、主催者として直接的な教育効果ばかりでなく、大会の違う側面も意識しながら運営していきたいと思ひます。別資料の形で記事のPDFを添付しますので、よろしかったらぜひご一読ください。

### **来年度大会について**

先述したように来年度大会概要が既に決まっていますが、実行委員の募集についてはまだ詳細が決まっておりません。次号全模研ニュースまたは、全模研連絡として会員の皆様には直接お知らせ致します。

2019年度 第3回全国高校教育模擬国連大会(AJEMUN)開催概要

大会日程:2019年8月7日(水)8日(木)

場所:東京代々木オリンピックセンター

その他:募集人数、形式等は今年度に準じる予定

### **全模研がついに書籍を出版！**

この春以降、全模研で書籍を出版する計画が立ち上がっています。もちろん模擬国連の裾野を広げるためのものですが、新たに模擬国連活動をはじめようとする学校教員の読者を想定しています。現在、浅野高校の宮坂先生の音頭で前述のAJEMUN 役員の方を中心として執筆を進めています。タイトルは「**高校生の模擬国連入門(仮)**」で「全国中高教育模擬国連研究会編」として、山川出版より来春刊行を目指しています。なお、印税は全額研究会の収入となり、今後のAJEMUN 開催や研究会の活動に利用する予定ですので、ご承知おきください。

### **定例勉強会～教員 MUN 開催 総会同時開催**

例年12月に実施している定例の勉強会ですが、今年も昨年好評だった教員MUNを玉川学園の後藤先生のご協力で開催します。生徒が行っている模擬国連を教員自身がやってみようという試みです。「意外に難しい」「生徒の気持ち解る」といった声が続出しています。とにかく一度経験してみてください！ぜひ多くの先生方の参加をお待ちしています。

日時:12月9日(日)午後

場所:玉川学園高等部(東京都町田市)

参加費:大学生にフロントなどのスタッフのお手伝いをお願いする関係で謝礼が発生しますので、2000円程度(予定)の参加費をお願いします。

申込み:11月末までに玉川学園の後藤先生までメールにてお申し込みください。

yoshifumi@tamagawa.ed.jp

その他:議題等は未定ですので参加される先生方にお知らせ致します。

## **全模研年次総会**

日時・場所とも上記の教員 MUN と同時開催です。(総会を 30 分程度開催後、教員 MUN に入ります。)今回は前述の書籍出版の関係で規約の改定を予定しています。現規約ではお金を扱う予定がなかったので、会計部門の項目が存在していません。今後は印税の収入が見込まれるので、会計部門と監査部門の項目を明記する必要があるからです。従いまして、なるべく多くの先生方のご賛同をもって決議したいと思いますので、ご参加をお待ちしています。

## **「全模研カフェ」開催**

さて、AJEMUN 開催以外停滞している全模研活動ですが、1 日や半日単位ではなく、平日夜に 2 時間程度で、もっと気軽に参加できる簡単な情報交換会のようなものが存在したらいいな、と以前から考えておりました。そこで標題のようなカジュアルな雰囲気の集まりを企画しました。今後も 2~3ヶ月に 1 回はこのような会を企画していく予定です。少人数でも(むしろ少人数の方が話しやすいかもしれません)、自校の事情などをお互いに交換し、参考になる部分はぜひ真似しましょう。何か活動を活性化させるヒントが見つかるかもしれません。以上のような趣旨なので、都内での開催とします。遠方の先生方には大変申し訳ありませんが、何卒ご容赦ください。

日時:10 月 26 日(金)18 時半~(90 分~2 時間程度)

場所:ロイヤルホスト高輪店

〒108-0074 東京都港区高輪 4-10-8 京急第7ビル1F

品川駅高輪口降りて、新高輪プリンスホテル方面へ歩いてすぐ左側(1, 2 分)

参加費:もちろん無料ですが、何かご注文ください。

申込み:前日(10 月 25 日)までに米山宛メールでお申し込みください。

jone\_yokosuka@hotmail.com

## **編集後記**

さて、全模研ニュースいかがだったでしょうか? 相変わらず連絡ものばかりで、研究成果や事例発表のような読み応えのある記事が掲載できていません。しかも駄文で本当に申し訳ありません。もう全模研ニュースはニュースに徹して、もっと高尚な内容は別の形で発行する方がベターかなという気がしてきました。もちろん責任編集は私以外で。その方がよっぽどいいものが皆さんにお届けできるような気がします。どなたか我こそはという方は、ぜひ手を上げてください! それまでは何とか私がかんばってみます。次号は年内にもう 1 回発行できるかどうか・・・。